

研究主題 新たな学習指導要領の実施に向けた、科目間相互の連携と史・資料や図版等を活用した授業の工夫

I 団体の概要

本研究会は東京都で歴史教育に携わる学校教職員で組織され、会員相互の歴史教育研究を通じて、生徒並びに社会一般の人々に歴史の見方・考え方を正しく理解させ、以て社会の発展に貢献することを目的としている。主な活動として、大学教授等を招いた講演会、年4回にわたる授業研究会、博学連携など、新しい指導法の確立に向けた教科指導法研究会、大学入試検討委員会、年2回都内近郊を中心とした史跡見学を実施している。また、全国歴史教育研究協議会、関東歴史研究協議会などの研究会との連携を図りながら、全国の歴史教育に携わる方々と交流を深め、生徒にとってより良い歴史教育となるように日々研鑽と情報発信を行っている。

II 講演会

5月に行われた講演会では、お茶の水女子大学名誉教授の小風秀雅氏による講演が行われた。歴史総合でも扱われるペリー来航を世界史の交通革命と関連づけて深く解説してもらい、生徒の興味・関心が高まるような授業に活用できそうな内容をご教示していただいた。11月には、専修大学教授の志賀美和子氏を迎えて、インドのサティの風習に関して議論を深めることができた。来年度は、探究科目が実施2年目になる中で、総合科目と探究科目とどう接続させるかに関して、教育現場での実際の状況についても意見交換を踏まえながら、今後どのように取り組むべきか考察していきたい。

III 授業研究

今年度は研究授業が4回実施された。今年度から「日本史探究・世界史探究」が実施されることに伴い、各担当授業者が、歴史総合と接続させ、単元を通観する問いの開発や、観点別評価を踏まえ、ICT機器を活用した授業実践等、多岐わたる授業実践を行った。

「歴史総合」との接続や、指導と評価の一体化に向けた授業の一層の充実など、様々な課題は見えたものの、新しい科目名となり、歴史教育が大きく転換する形となった今、多くの先生方と一緒に授業の在り方について意見を交流できたことは大きな成果といえる。

IV 大学入試検討委員会

大学入試問題検討委員会は、日本史部会と世界史部会に分かれて活動している。毎年発刊される入試問題をメンバーで分担して研究し、高等学校における標準的な学習内容に照らし合わせて適切な出題がなされているかどうかを、高校教員の立場から分析している。8月に「進学指導研究会」という形式で、詳細な活動報告を実施できるよう工夫している。今後は新指導要領に基づいた新たなタイプの入試問題が増えることが予想されるため、本委員会の存在意義はますます大きなものになると考える。

V 教科指導法研修

教科指導法研修では、歴史教育における教材開発や博学連携など外部機関との連携を図り、授業力向上並びに、生徒の新たな学びの場を創設することを目的としている。今回、練馬区にある東京都立大泉高等学校附属中学校にて、国立歴史民俗博物館の特任教授、大井将生氏をお招きし、教材開発を目的とした研修を実施した。今回の研修に関しては、国立国会図書館のプラットフォーム「JAPAN SEARCH」を活用し、関東大震災のキュレーション学習に関する教材開発の方法を分かりやすく学ぶことができた。「JAPAN SEARCH」を活用することで、デジタル情報資源を効率的に発見できる可能性があるということは、大変興味深かった。新学習指導要領では、授業において史資料の活用が非常に重要なため、この研修から新たな知見を広げることができた。

VI 史跡見学

今年度の史跡見学は、11月12日（日）に「千住宿周辺をめぐる」江戸四宿を訪ねて 第1弾をテーマに実施された。千住宿をめぐる当時の人々の暮らしぶりに関して、実際の宿場跡を巡った。小塚原回向院では、境内には安政の大獄で処刑された橋本左内の墓をはじめとして、吉田松陰や頼三樹三郎、井伊直弼を襲撃した水戸藩士の墓を見ることができた。ほかに、二・二六事件で暗躍した磯部浅一の墓などもあり、歴史の一端を垣間見ることができた。他にも様々な場所を探索し、松尾芭蕉にまつわる貴重な資料と詳しい解説を講師からしていただき、生徒を高める有益な教材を手にすることができた。来年の3月は、品川宿周辺を巡る史跡見学となっており、こちらも、普段なかなか見ることができない資料を活用した深い学びの実践につながるよう進めていく。

IV 成果とまとめ

今年度から、世界史探究・日本史探究が始まる中で、昨年度から始まった歴史総合とどう接続していくかについて、先進的な取り組みを紹介しつつ、各会員の来年度に向けた現時点での取り組みを基に議論を交わしながら進めることができた。

今年は、全国歴史教育研究協議会が東京で行われ、全国の歴史教育に携わる多くの方と今後の歴史教育の在り方について議論を深めることができた。

課題として、オンライン等をさらに活用しながら、様々な状況下でも実施できるよう取り組みを進めているが、まだまだ運用が十分にできていないため、今後ノウハウの蓄積を増やしていく。

以上を踏まえ、来年度より本格実施の新学習指導要領に基づいて授業実践を進めていく東京都の地理歴史科の教員にとっての懸け橋となれるよう今後とも研鑽を深めていきたい。

<連絡先>

団体名		東京都歴史教育研究会
代表者	所属	東京都立葛西南高等学校
	職 氏名	校長 関山 勝之
	連絡先	03-3687-4491
事務局	所属	東京都立武蔵野北学校
	職 氏名	主任教諭 細川 貴之
	連絡先	0442-55-2071